



ANA SHONAI BLUE Ambassador

の講義を受けました

庄内の魅力発信 架け橋へ

「ずっとお願いしたかったんです。庄内で活躍しているのを知っていましたから」。県立鶴岡中央高校（鶴岡市）の大野みどり教諭は話した。昨年10月、1年生の総合学科「産業社会と人間」の授業に、全日本空輸（ANA）で客室乗務員（CA）を務めつつ、庄内地方に移住して「親善大使」として活躍する「ANA SHONAI BLUE Ambassador（ブルーアンバサダーII B A）」を招いた。

舞い降りたCA

ブルーアンバサダー1年



県立鶴岡中央高校の生徒を前に講演する
BA II 2022年10月、鶴岡市大宝寺

正

で働くために必要なコミュニケーションやマナーなどを生徒に講義した。BAをよんだ理由を別の教諭はこう話す。「ブログやSNSで庄内の魅力をたくさん発信している。何もないように思える地元の庄内にも、実はこんなにも魅力があるんだ、と教えてくれる貴重な存在なんです」。同校の生徒の多くは卒業後、進学や就職で地元を離れるという。海外や日本各地を飛び回る現役CAが庄内の魅力を語れば、生徒に何らかの気づきを促してくれるのでは



ワイナリー「ピノ・コッリーナ松ケ岡」で、川島旭ゼネラルマネジャー（左）の指導を受けながら、新しいワインの「味づくり」に挑むBAの5人 II 2022年5月、鶴岡市羽黒町松ケ岡

授業や商品開発

「住みますCA」とも言えるBAが庄内にやってきたのは2021年10月。コロナ禍による連休・減便で、搭乗機会を失ったCAの救済策の一つだった。メンバーは切江沙也香さん（31）、西紅映さん



BAは酒田市の地域FMで番組を持つ。収録に参加する（左から）坂本里帆さん、西紅映さん、九鬼江美さん II 2022年12月、酒田市中町2丁目

新しい化学反応

「航空会社が飛行機を飛ばすだけでなく、地域創生にも取り組んで、CAを地方に移住させる。ANAもすごいことをやるなあ……」と思いきや、そう話すのは、鶴岡市羽黒町松ケ岡にあるワイナリー「ピノ・コッリーナ松ケ岡」のゼネラルマネジャー、川島旭さんだ。

「一日頃から日本全国、世界各地の今を見ています。その知識や感性、もの見方には大いに参考になった」。コロナ禍に苦しむのはワイン業界も同じだ。だけれども、思うように仕事ができない葛藤を抱えている。「実際にBAたちと話しているうちに、これまでにない新しい化学反応が起きると確信しましたね」

BAの危機管理や先を見越した細心の接客などにも感心したという。庄内空港がある酒田市もBAを積極的に活用する。BAの正式発表に先立ち、21年5月にANAからBAプロジェクトの打診を受けると、翌6月には「小中学校でのキャリア授業」「日本海の離島・飛鳥のPR」「市の観光プロモーション」といった具体的な依頼メニューを打ち返した。BAが住む物件の紹介なども行い、実際に5人全員が市内に居を構えるという成果も得た。

丸山至市長は言う。「1年でも実際に住んでもらえれば街のことがわかるし、『住んでいた』という記憶は残る。世界中を飛び回る彼女たちが何かの機会に『酒田』や『庄内』を紹介してくれるれば」

BAの誕生から1年
余り。地域との間で「三方良し」の関係を築いている。活動を振り返った。
(鶴沼照都)